

# 平成28年度 ふかさわ ミル保育園 事業計画

## 【事業計画の概要】

基本理念《子どもが子どもらしく生きる》

保育園の生活を通して、平和な社会を創造する。そのために、子どもたちが人とのつながりを大切にしながら、毎日を明るく楽しみながら生きて行くことができる自立した力をそれぞれで身につけていけるようにする。

世田谷区の待機児童解消に少しでも貢献することが出来ればと28年度より開園する事としました。新設園のため、ほとんどが保育経験のない子どもたちの集団となります。まず、毎日登園する中で「楽しい保育園」であると思えるような保育を行う事。また、一人ひとりを態背にする保育を職員・保護者と共に実践することに努めます。

また、常に職員全体で考える事を定着させ、安全な環境を用意すると共にそれぞれの（一人ひとりの）成長が望める保育を展開する事を目標とします。

“楽しく遊び” “楽しく食べ” “楽しく課題に取り組む子”を育みます。

## 【保育計画のポイント】

保育方針

子どもの気持ちを尊重し主体性を育てる保育

○多様な価値観の中でお互いを認め合い 子が育つ群れを形成する

○子どもの主体的な活動の場を保障する（色々な企画をみんなで考えて構築する）

○一人ひとりの特性に応じた保育（習熟度別・選択制の保育）

★一人ひとりを大切にする保育・・・《私は私。でも、私は私たちの中のわたし。》

保育目標

I 子ども主体の保育

★一人ひとりの主体性を大切にする保育

★子どもが人的、物的環境に関り遊びを見つけながら伝承する保育

II 生きる力、創造する力を蓄える

★あそびを中心とした日々の生活の中から、役割、仕事を持って関わる

★一年を意味のあるものにするために行事等で日々の保育を生活にできるよう創意工夫する

III 自己を充分発揮しながらも他と協調することができる自我を育てる

★個と個の軋轢を超え共に生活する中で、待つこと、譲ること、思いやることを体験する

★のびのびと自己を発揮する事ができるように自立を援助する

IV 養護と教育が一体となった保育

## ★Ⅰ～Ⅲの保育のバランスのよい実践

### 【保育の方法】

#### 見守る保育

保育の目的を実現するために、私たちは、環境を通して子どもの発達を保障する。これは、子どもの自らの発達しようとする力を引き出し、可能な最大限度まで発達させることを意図した環境を用意した保育を行う。

#### 1 生活と遊び・ゾーン保育

子どもが自発的・意欲的に関れるような環境の構成と、そこにおける子どもの主体的な活動を大切にする

#### 2 一斉保育から選択する保育

子ども一人ひとりの発達について理解し、一人ひとりの特性に応じ、発達の課題に配慮して保育する

#### 3 シティズンシップ

子どもは多様な大人、子ども同士の体験から、社会を学んでいく

#### 4 見守るほいく

保育者は子どもが自発的、主体的、多様な人との関係の中で活動するために、いつでも駆け込める信頼できる存在でいること

#### 5 異年齢保育

子ども同士の中で刺激し合うことから、様々な年齢と係わりを保障する。(見て・まねて・関わって・教わって・教えて・一緒にやっつて)

#### 6 チーム保育

子どもは、職員のチームによって、多様な社会との関りを学習する

#### 7 インクルージョン保育

子どもを、男女、障がい、年齢による刷り込みを持たない

#### 8 やってあげる保育から見守る保育へ

子どもが自立して行く事、自己の意志を表現する事を保育者は妨げない

#### 9 保育者の人権

保育者は子どもに奉仕したり、世話をする人ではなく、一人の人格を持った人として子どもと共に生活する

#### 10 保育の原則

乳幼児基本法（案）に則った保育を展開しなければならない

上記を基本に考えて年間指導計画案や月案・週案を理念の下製作して保育におろしていく